

### 地域情報化アドバイザー制度活用報告書（2日目）

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

#### 記

#### 1. 申請団体情報

##### 1-1. 申請団体

団体名	千早赤阪村	代表者名	南本 齋
担当者部署	企画課	連絡先電話番号	0721-72-0084
担当者役職	課長代理	担当者氏名	仲野 善博
住所	585-8501 大阪府千早赤阪村大字水分180		

#### 2. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	米田 宗義
評価	大変よい
上記評価の理由（どのよう なところがよ かったか等詳 細に）	各町村の課題となっている点を理解して頂いたうえで、自治体DXに対して知識が乏しい、または、現状を知らない職員に向けてわかりやすく、意識改革や全課で推進に取り組む事の必要性、オンライン申請の進め方などを話して頂いた。
アドバイザーへの要望事項	理事者を含めた管理職パート、一般職パートに分けた研修の実施を要望し、それぞれの役職等に応じた意識づけなどを要望した。

#### 3. 地域情報化アドバイザー派遣実績

	派遣日	開始時刻	終了時刻	内休憩時間（分）	活動時間（分）
3-1. 活動	2022年2月2日	9時30分	15時00分	60	270
3-2. 派遣場所	会場名	太子町役場		最寄駅	近鉄上ノ太子駅
	所在地	大阪府南河内郡太子町大字山田88番地		最寄駅からの交通手段	<small>近鉄上ノ太子駅から徒歩約15分（10分）に、太子町役場下車、徒歩約5分</small>
	派遣形態	講演（オンライン）			

#### 4. 報告書についてのAPPLICホームページへの掲載許可

掲載許可	<input checked="" type="radio"/> 掲載可
------	--------------------------------------

#### 5. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

5-1. 支援を受けた対象者	属性（職員、一般、企業等）について【自由記述】	人数
	職員（課長級以上職員・担当職員）	35人
5-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果		
事業の課題・問題点 （具体的にご記入下さい）	各町村とも小規模団体であることから、これまでは情報化施策担当部署が中心となって対応している。住民の利便性の向上や業務の見直しにおいては、担当課自らが主体的に取組む必要があり、管理職も含めた全職員の意識向上が必要となっている。	
支援により目指す成果 （具体的にご記入下さい）	情報化施策担当課まかせではなく、各課において主体的に行動できるよう意識改革と、オンライン申請が推進されるなど今のタイミングを逃すことなく、デジタルだけではなくDXの推進を図るための理解を深める。	
アドバイザーに支援を受けた内容 （具体的にご記入下さい）	自治体DXの入門講座として、自治体システムの標準化・共通化と行政手続オンライン化に関して、他自治体や民間企業の事例を交えながら、午前中は管理職員、午後は非管理職員に分けて、オンライン形式により講演していただいた。 研修のポイントとして、①職員の意識向上を図る、②オンライン申請の必要性や進め方の助言、③今後のスケジュール、④他団体の事例を踏まえ研修を行ってもらった。	
支援を受け改善又は解決された内容 （具体的にご記入下さい）	管理職も含めた研修受講職員の自治体DXについて意識向上が図れた。	
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	⑦その他
	研修・講演のため、具体的な成果物はなし。	

改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的にご記入ください)	今回の研修のおかげで職員の意識向上は一定図れたが、今後、庁内業務の効率化や住民サービスレベルの向上に各課が主体となって取り組む体制づくり等、自治体DXの推進のため取り組むべき多くの施策がある。	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。) アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 別紙アンケート結果のとおり	
5-3. 今後の計画	最も当てはまるものリストより選択下さい	⑤その他
事業の最終的な目指す姿	オンライン申請の推進による住民の利便性の向上及び業務の効率化等自治体DXの推進。	

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

